子育て支援の充実について

大豆生田　春美 議員

質問（大豆生田春美 議員）

子育て支援メールマガジンの配信事業を実施する考えがあるのか伺います。

答弁（総合政策部長）

メールマガジンの配信については、可能な限り早急な実施に向けて現在準備を進めており、今定例会で当該関係予算を含む補正予算が議決されましたので、今後システム構築に向けて関係各課との調整を行い、順調にいけば来年2月には運用開始となる予定です。

今回導入を考えているメール配信システムは、登録いただいた利用者の皆様に、必要な市の情報ジャンルを選択していただき、その選択した情報のみが瞬時にメールでお手元のスマホ等に届くというものです。子育て支援メールについても、選択ジャンルの1つとして設定し、乳児健康診査、予防接種及び子育て関連教室の日程と内容のご案内、さらに、子育て支援に関する各種手当のお知らせや保育園などの手続きのご案内などの内容をメールで積極的に発信する予定でありますが、詳細については、担当課と打合せを行っていきたいと考えています。

買い物弱者の支援について

小池　利雄 議員

質問（小池利雄 議員）

本市で取り組んでいる買い物支援の現状について伺います。

答弁（保健福祉部長）

本市の高齢者を対象とした買い物支援については、一人暮らしの高齢者、高齢者世帯や障害者など手助けを必要とする方が、地域の中で不安なく、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会」を目指し実施している「安心生活創造事業」の見守り組織活動の中で取り組まれています。

市内すべてで地域住民を中心として設立された12地区の見守り組織のうち、買い物代行をしている10地区の平成26年度の活動実績件数は334件で、声かけやごみ出しの手伝いなどの活動件数合計7万4774件に対する割合は、0・4％となっています。また、買い物の機会が少ない方に買い物を楽しむ機会を提供するため、貸切バスによる買い物ツアーを実施している見守り組織もあります。

なお、その他の買い物支援として、「生活支援ホームヘルプサービス事業」、「高齢者軽度生活援助事業」「福祉タクシー事業」の中でも取り組んでいます。